

大阪大学 CO デザインセンター  
CO\*Design 投稿規程

1. 投稿者の資格

- 投稿者のうち少なくとも 1 名は、大阪大学の教員・研究員、および学生を含むこととする。
- ただし、CO\*Design 編集担当（以下、編集担当）が承認または原稿執筆を依頼したものについてはこの限りではない。

2. 投稿内容・種類

2. 1 投稿内容

- 投稿原稿の内容は自由であるが、広義の高度汎用力（超域イノベーション、コミュニケーションデザインを含む）の概念・実践・教育方法の開発に寄与するものを対象とする。
- 原稿の対象は、レポート（報告）のみとする。

2. 2 種類：レポート（報告）（すべての投稿で査読あるいは閲読あり）

レポート（報告）には、下記のような内容を含む。

- 当該分野における新しい研究・開発の成果の記述で、研究の対象、方法、あるいは結果に独創性、創造性があり、かつ明確で価値のある結果や事実を含む。
- 教育、および社会学連携等の実践報告
- 技術報告（設備・装置・ソフトウェアなどの設計・試験・運用・評価などの新しい経験やその結果の報告で、実用的価値のあるもの）
- テキスト以外（画像・音声・映像等）を中心とした形式の投稿も可能とする。ただしその場合であっても、その背景や著者の意図に関する記述（1,000 文字以上）を含むこととする。
- その他
  - 短報（速報）：今後論文にまとめる予定の試論、又は速報的なもの。
  - 資料：論文のスタイルに収まりにくいもの。委員会・研究会が集約した意見・報告書など。
  - 編集者への手紙（letter to editor）：論文に対する意見、編集に対する意見など。
  - 書評：書物に対する評。

### 3. 投稿原稿の作成及び提出

#### 3. 1 原稿の様式

原稿の様式は、別紙執筆要綱による。なお、編集担当において表記等をあらためることがある。

#### 3. 2 受理日

投稿原稿が編集担当に到着し、査読を受けた後、修正がある場合はその改訂稿が提出された日付をもって原稿の受理日とする。査読による修正が無い場合は修正なしで掲載可と通知された日をもって原稿の受理日とする。

#### 3. 3 内容

投稿原稿の内容は、原則として他の書籍・雑誌において未発表でかつ査読中でないものとする。

### 4. 査読・閲読手続き

#### 4. 1 査読・閲読の対象となる原稿

投稿されたすべての原稿について査読・閲読を行う。なお査読 (peer review) とは、投稿者と専門を同じくする者による採否審査のことであり、閲読 (review) とは外部への依頼者を含めた編集委員を中心として合議に基づく採否審査のことである。査読と閲読の実態が合致しなくても、本誌では、掲載後にもし外部からの照会があった場合には「適切なレビュー (proper review)」行った旨の回答をする。

#### 4. 2 査読者の選出等

投稿された原稿について、編集委員あるいは編集委員会が依頼した匿名のレビューアが査読・閲読を行う。

#### 4. 3 投稿原稿の採否

査読・閲読の結果に基づいて編集委員が決定し、投稿者に通知する。

#### 4. 4 原稿の修正

- 査読等照会事項について原稿の修正を行う場合は、編集担当が指定した期間内に書類一式を再提出する。
- 著者校正は1回とし、再校以降は編集担当が担当する。

### 5. 著者校正

- 著者校正は1回とし、再校以降は編集担当が担当する。
- なお、マルチメディアの投稿原稿等については、配信上の加工が必要とされ

る場合、編集担当と著者との間で事前に協議することがある。

## 6. 媒体

CO\*Design は、大阪大学学術情報庫（OUKA）を利用したオンラインジャーナルの形態で公開することを原則とする。

## 7. 著作権

- 本誌に掲載された内容については、投稿者に著作権があるものとする。
- また本誌は電子版も発行し、原稿は原則として大阪大学学術情報庫 OUKA に PDF ファイル又はその他の形式で掲載するため、著者はこれについての著作権上の複製権及び公衆送信権を大阪大学 CO デザインセンターに対して許諾することとする（これに掲載することを許諾しない場合は投稿時に必ず本人が申請するものとする）。
- また投稿において著作権者の存在する写真、図版、資料を引用する場合には、投稿者が責任をもって許可を得ておくこと。

## 附則

この規程は、2017 年 8 月から施行する。